

口蓋裂

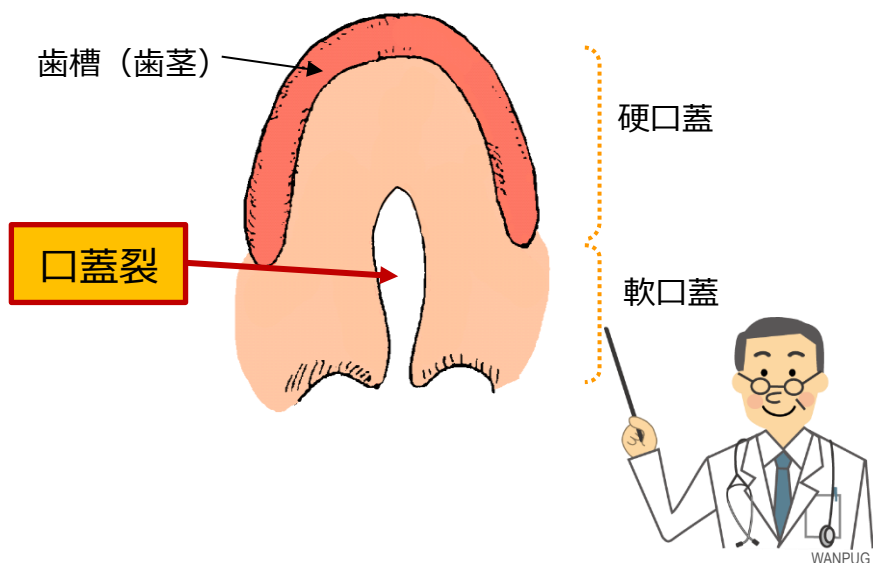


WANPUG

子ども達に「**勇気**、**夢**として**笑顔**」を

口蓋裂とは

上あご（こうこうがい硬口蓋）と、のどちんこ（なんこうがい軟口蓋）の一部が
つながらず、隙間（れつ裂）が残っている状態です。
この隙間を通して口腔（こうくう）と鼻腔（びくう）が交通しています。



症状

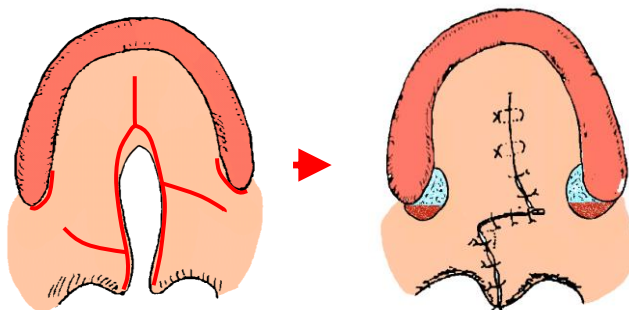
まず、乳児期に見られる症状として、哺乳が弱くなります。
次に、言葉を喋り始めてから後もしばらく口蓋裂を治療せ
ずにおいておくと言葉の発音が不明瞭になります。
また、口蓋裂を持つ乳児は^{しんしゅつせい}滲出性中耳炎に
かかりやすくなります。

治療

乳児期には、吸う力が弱くても哺乳ができる専用のニップル（哺乳びんの先）を使います。



口蓋裂は、およそ1歳～1歳6か月を目処に手術を行います。手術は全身麻酔で行い、入院期間は14日前後となります。

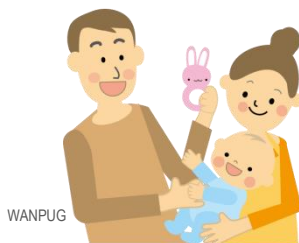


滲出性中耳炎は、早い時期に耳鼻咽喉科に紹介し、耳鼻咽喉科の先生方と一緒に診ていきます。



日常生活で注意することは

基本的に、哺乳以外に注意することはありません。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<口腔外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605